

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
観光学演習 Tourism Skills		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(観光ビジネス実務士必修科目)	特に無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務総論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤 清		火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
<p>旅行業では、国内および海外の観光資源・海外地理の知識が必要となる。観光資源の知識を身に着けるためには、時間を掛けて一つずつ覚えていく以外に、方法は無い。また観光資源や観光地理の知識は、旅行業の仕事の現場では必要不可欠なものである。この講義では、海外の観光資源、観光地理の基本を学んでいくこととしたい。</p>				
授業の目標				
<p>①世界の地形、地勢の知識を修得出来るようにする。  ②アジア、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア、アフリカそれぞれの大陸の観光資源、観光地理を修得出来るようにする。  ③世界各国の美術館・博物館・世界遺産などを修得出来るようにする。  ④世界各国のイベント・行事・料理などの知識を修得出来るようにする。</p>				
授業の方法				
<p>毎時間、該当する国の主要な観光資源に関するプリントを配布し、テキストと世界白地図を参照しながらクイズ形式で解答していく、という流れで進めていきたい。また適宜写真データやDVD等を活用しながら観光資源を視覚的に確認していくこととする。</p>				
学習の成果(学習成果)				
<p>特にアジア、ヨーロッパ、アメリカを中心に観光資源、観光地理の基本的知識を修得することができ、旅行業の現場で活用することができる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(講義の進め方)			
第2回目	世界の地勢			
第3回目	アジア①(韓国・台湾)			
第4回目	アジア②(中国・香港・マカオ)			
第5回目	アジア③(フィリピン・ベトナム他)			
第6回目	アジア④(インドネシア・タイ他)			

第7回目	中間理解度チェックテスト (アジア)
第8回目	ヨーロッパ① (イギリス・オランダ・ベルギー)
第9回目	ヨーロッパ② (北欧4国・ドイツ・スイス等)
第10回目	ヨーロッパ③ (フランス・イタリア)
第11回目	ヨーロッパ④ (スペイン・ポルトガル他)
第12回目	南北アメリカ① (アメリカ・ハワイ)
第13回目	南北アメリカ② (カナダ・メキシコ他)
第14回目	オセアニア・太平洋の島 (オーストラリア・ニュージーランド他)
第15回目	中東・アフリカ (トルコ・イスラエル・エジプト他)

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に積極的に参加しノートをとっているか、不明な点について良く質問するか、好奇心と興味を持って講義に臨んでいるか等を総合的に評価する。 S評価の基準：上記参加態度を全て満たす者。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	アジア (第7回目) が終了したら中間チェックテストを実施し、理解度を確認する。 S評価の基準：S=90-100
試験	50%	アジアを除く世界各国の観光地、観光資源の理解度を確認する。 S評価の基準：S=90-100
発表内容 (態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

海外観光資源 (JTB総合研究所) 海外白地図 (JTB総合研究所)

履修上の留意点・ルール

3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。  
遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。